

2026年度合同入社式 挨拶(要旨)について

本日、山陽特殊製鋼本社講堂にて山陽特殊製鋼グループ3社※の2026年度合同入社式を挙行了しました。合同入社式における山陽特殊製鋼(株)福田社長の挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

※山陽特殊製鋼(株)、山特工業(株)、サントクコンピュータサービス(株)。2025年度より合同入社式を実施

ご安全に！

ようこそ山陽特殊製鋼グループへ。本日は、山陽特殊製鋼、山特工業、サントクコンピュータサービスへのご入社、まことにおめでとうございます。

当社グループは、この数年でグローバル事業を強化・拡大し、売上規模は倍増、グループ従業員も約6,400人へと大きく増えました。今では外国籍の従業員が約7割を占めています。そうした中、ここ姫路の本社工場も、お客さまのニーズにより効率よくお応えできる特殊鋼ミルへと進化を続けています。

当社グループの製品は、自動車・鉄道・航空機といった移動機械をはじめ、建設機械、産業機械、ロボット、風力発電設備など、幅広い分野で使われています。品質についても、世界最高水準だという評価をいただいています。

一方で、国内市場は縮小や構造変化が進み、海外メーカーとの競争もいっそう厳しくなっています。だからこそ当社は、適正な利益を確保するための価格改善、安定操業の推進、生産量に見合ったコストの最適化に、グループ一丸となって取り組んでいます。さらに、海外事業を伸ばすためのグローバル戦略も進めています。こうした中、当社は昨年4月に日本製鉄の完全子会社となりました。これからも成長していくために、日本製鉄との最適な生産体制の追求や経営リソースの共有を進め、競争力を高めていくことが大切です。あわせて、需要拡大が見込まれる分野・領域で、しっかり収益機会をつかんでいきます。

ここからは、皆さんがこれから活躍していくうえで、私から3つお伝えしたいと思います。

1つ目は、「挑戦」です。

先ほどもお話ししたとおり、当社はいろいろな課題に向き合っています。しかし社会や環境の変化はこれからも加速し、新しい課題が次々に出てきます。これを乗り越えていくために欠かせないのが、「挑戦し続けること」です。特に、フレッシュで柔軟に考えられる皆さんの力に期待しています。仕事を進める中では、うまくいかないことや壁にぶつかることもあると思います。しかし、挑戦している限り、それは失敗ではありません。ぜひ恐れず、一歩踏み出して行ってください。

2つ目は、技能を大切にし、これをしっかりと伝え続けていくことです。

当社グループの強みは、何と言っても現場力の高さです。現場力は、日々仕事をする中で技能を積み重ねることで強くなっていきます。私たちは積み上げた技能に誇りを持ち、さらに磨き続けることで、グループの土台を支えてきました。皆さんも現場で積み上げる技能の大切さをぜひ実感しながら、新しい視点で現場の取り組みをどんどん盛り上げててください。

そして最後に、いちばん大切なのが「心身の健康」です。

冒頭に「ご安全に」とお伝えしました。「ご安全に」は製造業の挨拶で、「今日も1日、事故なく安全に過ごしましょう」という思いを込めて交わす言葉です。皆さんには、心身ともに良いコンディションを保ち、安全で健康な会社生活を送ってほしいと思います。そして、「高信頼性鋼の山陽」というブランドを支える心強いメンバーとして、大きく成長していくことを期待しています。

今日から社会人生活が始まる皆さんは、可能性に満ちています。これからの1日1日を大切にしながら、いろいろなことを吸収して行ってください。

若い力をのびのびと発揮して、充実した日々を送っていただけることを心から願っています。以上、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

山陽特殊製鋼株式会社

代表取締役社長 福田 和久



挨拶する福田社長



2026年度当社グループ新入社員